韮山高校校歌

空を仰げば魂(たま)ゆらぎ
地を踏みゆけば肉躍る
歴史は古き韮山の
男子(をのこ)の気噴(いぶき)吹き明(あか)れ

勁(つよ)くますぐに飾(かざ)りなく
いや伸びいそぐ龍城の
松の太幹とりどりに
生(おをし)立つべき日は近し

空を睹(み)よ地を踐(ふ)みしめよ
あくまで深き天地(あめつち)に
生きの身力徹(とほ)らしめよ

応援歌①

1. 青雲高くいななきて
銀の蹄(ひづめ)に風を呼び
一瞬千里天翔(あまが)くる
天馬に似たるこの意気や

2. 北溟(ほくめい)の波蹴破りて
芙蓉(ふよう)に羽打つ九万里
月日にせまる鳳(おおとり)の
翼に似たるこの力

3. 意気と力を生命(いのち)なる
我龍城の健男児
ただ突き進めましぐらに
栄光永久に我にあり

応援歌②

1. 龍城山下日は晴れて
闘わんかな時至る
ローマを偲ぶ健児等は
鷙鳥虚空(しちようこくう)を仰ぐこと
踰躍(ゆやく)の思いにたえがたく
蓋世(がいせい)の意気燃ゆるかな

2. いざ戦えやわが選手
ルビコン既にあとにあり
熱血躍る我が友の
希望は高しオリンピヤ
覇者の冠(かむり)を戴きて
ああ敵陣を衝かんかな

寮歌

1. 箱根足柄雪消えて
足る日の光さし来れば
狩野の大川悠々と
世は永劫(えいこう)の春に入る

2. 小霧流(さぎり)るる蛭(ひる)が島
出丸が岡の夕映に
燃ゆる錦の草紅葉
織るいくとせや旅衣

3. 昔思えば韮山は
北溟(ほくめい)の波英雄の
鵬雛(ほうすう)巣立ちするところ
巣ごもる吾よ巣立つ日よ

4. 憧れ行けば文の道
武林(ぶりん)の奥の果てもなく
寮の灯のまたたきに
故郷偲ぶ暮雨(ぼう)の魂

5. ああ蛍雪のあけくれて
身に昼錦(ちゅうきん)を飾る日も
胸のしらべは忘れじな
龍城松の夜半の音

韮山高校　生徒会本部